

「千葉市文化交流プラザ(京葉銀行文化プラザ)廃止の方針」に関するご意見と市の考え方

1 音楽ホール存続を求める意見 ※ご意見の一部は、趣旨を損なわない範囲で、要約または集約させていただいる場合があります。ご了承ください。(以下の項目においても同じ)

意見 No.	意見概要	回答案
1	・存続を願う。京葉銀行文化プラザを活用し、若い音楽家の育成や、チャリティーコンサート等の活動を行ってきた。廃止せず、今のまま使わせてほしい。	・本施設の廃止・売却に伴い、市所有施設では無くなるものの、方針で記載したとおり、音楽ホールについては、土・日曜日の利用が多く市民会館等の近隣の市有文化施設では需要吸収が難しいことなどから、施設廃止に伴う市民サービスへの影響を考慮し、売却にあたり、ホール継続(10年以上)の条件を設定する予定であり、ご意見の趣旨は含まれているものと考えています。 ・いただいたご意見については、今後、売却条件の具体的な内容の検討において、参考とさせていただきます。
2	・歴史のある街に、不変の物があって、人が集い、楽しむことをおろそかにしてはいけなない。このような立派な音楽ホールを無くしてしまつては、担っていく若い音楽家たちはみな都会に集まり、身近に音楽を聴ける機会が益々少なくなっていく。是非、音楽ホールを残してくださいようお願いします。	
3	・音楽ホールを発表会で利用しており、生徒達は、「このホールでピアノの発表会をしたい」、「ずっと使えるように残してほしい」と言っている。千葉市でホールの大きさ、音の残響時間、使い易さ、駅からの時間、新しいグランドピアノが2台などの条件が揃っているのはこのホールだけである。子供たちのためにも残してほしい。	
4	・千葉市は、他の地域に比べると、条件の良い音楽ホールが少ないので、簡単に無くさないでほしい。	
5	・プラザの音楽ホールは、千葉市に限らず東京近郊の中でも有数の音楽専用ホールである。演奏家や聴衆にとつてもヴィンテージ楽器に相当する価値の高いホールである。これだけ価値の高いものをメンテナンス費用を理由に簡単に廃止するという考えには賛成できない。	
6	・ほどよい残響をもっているにもかかわらず濁らずとても自然な音であるなど、音楽ホールの音響は稀に見る素晴らしいものである。また、一流の方が設計しても、実際に素晴らしい響きの実現できるかは鳴らしてみなければ分からない中、奇跡とも言える貴重でかけがえのないホールである。市が保有する最も貴重なものの一つとして、今まで通り運営していただくことを強く望んでいる。	
7	・幼少より市に在住し、ピアニストとしての活動をしてきたが、音楽ホールの響きは、東京のトップクラスのホールとまったく同等であり、また、音響だけでなくホールとしての品格、諸設備もトップクラスにあると思っている。文化の発展は人々の心を豊かにし、音楽ホールでの交流はかけがえのないものである。存続の検討をお願いしたい。	
8	・音楽ホールは、千葉市に限らず東京近郊の中でも有数の音楽専用ホールである。演奏家や聴衆にとつてもヴィンテージ楽器に相当する価値の高いホールである。優れたホールは、文化のバロメーターである。これを手放し失うことは、市は文化都市としての意味を失うことに等しく、取り返しのつかないこととなる。これだけ価値の高いものをメンテナンス費用を理由に簡単に廃止する考え方には賛成できない。	
9	・千葉県には、素晴らしい音楽家がたくさんいて、現在も続々と育成されている。その方々は、一度は京葉銀行文化プラザの舞台を踏んでいると思う。このような文化施設が文化人を育てているのだと思う。優れた音楽家を千葉から世界に向けて多数輩出するためにも、京葉銀行文化プラザの存続を強く希望する。	
10	・演奏会の鑑賞者として、また、ピアノ演奏者として本施設を利用してきたが、京葉銀行文化プラザは素晴らしい施設であり、親切なホール関係者の方による運営は魅力的である。市の施設として音楽文化発信の場であり続けてほしい。	

「千葉市文化交流プラザ(京葉銀行文化プラザ)廃止の方針」に関するご意見と市の考え方

意見 No.	意見概要	回答案
11	・市が率先して「都内中心部までは電車で1時間、良いホールで良い音楽を聴きたければ東京まで出かけましよう。」という方針を示す事は哀しい。市にはこのホールに代わる施設は無い。維持していただけることを強く望んでいる。	
12	・アマチュアピアノ弾きであるが、京葉銀行文化プラザの音楽ホールで演奏した時の喜びは忘れられない。ここまで素晴らしいホールは都内にもほとんどない。存続を切に願っている。	
13	・演奏者だけでなく、来場者からもホールの響きが良いと褒めていただいて、このホールで演奏できて良かったと感謝の気持ちをもった。音楽ホールとしての維持を切に願う。	
14	・廃止の方向については残念であり、存続されるよう願っている。	
15	・市外在住であるが、市内に在住する演奏家や音楽愛好家が音楽活動の場所を失うことや、近隣に在住する市民にとっても大きな損失であると思う。文化の拠点として、クオリティの高いホールをみすみす手放して廃止してしまうということはもったいない悲しい状況である。文化あふれる未来のために、何とか存続の道を探って欲しい。	
16	・自分が住んでいる町には響きの良い本格的なホールが無いことは大変残念であったが、京葉銀行文化プラザを知って度々訪れることによって、コンサートを楽しむ喜びは、代えがたく、さすが政令都市と感嘆していた。このような文化的価値が高い物を安々と手放して良いのか。	・JR千葉駅周辺には、本施設の他に、千葉市民会館や千葉市文化センター（以下、「市民会館等」と言います。）が集中して立地しております。このため、本市では、文化芸術鑑賞の現状や、今後の文化施設に求められる役割等を整理するとともに、本市の文化芸術の更なる発展に最も効果的な施設整備等について、文化施設の再構築の考え方をまとめました。この結果、市民会館等は、施設機能等に伴う位置づけ等から引き続き活用することとしたものの、本施設は、市民会館等に比べ利用率が低いことや、建物全体の維持にあたり、今後、多額の費用を要すること等から、平成29年度末で廃止し、建物・土地を一体で売却する方針としています。 ・なお、売却にあたっては、ホール継続(10年以上)の条件を設定する予定であり、当面の間は本施設のホールは存続する予定です。 ・今後、市民会館等の既存施設を活用しながら、本市の文化芸術の更なる発展に努めてまいります。
17	・市の格を上げ、都内より低価格で本格的な音楽を提供していることをないがしろにして、利便性を一時の物に変えて良いのか。	
18	・市の事業というのは商売としてやっているわけではないはずであるから、音楽ホールを採算が取れないという理由で手放すのは、政令指定都市として恥ずかしいことではないか。	
19	・大いなる目的を以って建設された唯一の音楽専用ホールを、ただ平日の稼働率が低いからという理由で廃止するのは大変残念である。もう少し検討の余地は無いものかと思っている。	
20	・傷んでいない物を壊しては作るという、取り返しのつかないことに、また税金を使って、一部の利を許すのか。	・本施設は、本市が取得(平成18年度末)して以降、概ね10年間で、熱源などの設備改修費用に約3億円の経費を要しています。また、旧郵政公社が本施設を建築(平成11年)してから約17年が経過していることにより、今後、老朽化した設備の改修に、5年間で約10億円が必要となると試算されるなど、多額の費用を要する見通しです。これらの施設維持コストの見通しや利用状況などを総合的に検討した結果、施設としては廃止・売却する方針としています。 ・なお、売却にあたっては、ホール継続(10年以上)の条件を設定する予定であり、当面の間は本施設のホールは存続する予定です。

「千葉市文化交流プラザ(京葉銀行文化プラザ)廃止の方針」に関するご意見と市の考え方

意見 No.	意見概要	回答案
21	・団体の活動を通じて、音楽ホールを利用した演奏者からは、毎回ホールのことを褒めてもらっている。また、運営スタッフは、ホール活性化に向けて努力しており、団体の活動は、彼ら無くしてはあり得ない。施設全体の維持のことで、音楽ホールを失うことを避け、千葉トリニティ運営事業体とともに音楽ホールだけでも残し、音楽ホールの特性を生かした運営を継続されることを願う。	・千葉トリニティ運営事業体は、地方自治法第244条の2第3項で規定される指定管理者であり、現在の指定管理期間(平成27年度から平成29年度まで)終了後について、本市が同事業体へ関与等することはできません。
22	・音楽ホールは、市の音楽文化にとって極めて重要な財産である。施設全体の収支のために、音楽ホールを捨ててしまうことのないよう、音楽ホールだけでも千葉トリニティ運営事業体とともに残し、音楽ホールの特性を生かした運営を継続されることを願う。	
23	・平日の稼働率がとても悪いとのことだが、有名な方の演奏会を平日夜にやっても駅からすぐなので集客できるのではないか。また、合唱団や室内楽の練習会場に格安でお貸しする、学校等の発表会でも使えるようにするなどして使ってもらい、ホール廃止を取りやめてもらえたらと思う。廃止にならないことをただただ祈るばかりである。	・平日の稼働率の向上に向けた取り組みとして、市民の皆様に気軽に使ってもらえるよう、学生等を対象に楽器の練習などの利用において、施設利用料金の割引制度を設定・周知することにより、利用促進に努めております。しかしながら、現在まで、利用率は、他の市文化施設に比べ低い状況であることや、今後、施設の維持管理に要する費用などを踏まえ、廃止する方針としたものです。 ・なお、本方針では、本施設のホールについて継続(10年以上)の条件を設定する予定であり、いただいたご意見については、今後、売却条件の具体的な内容の検討において、参考とさせていただきます。
24	・土日の利用率が高くなるのは当然であり、他県の音楽ホールでは平日利用を促進するために、録音利用や中学校・高校の吹奏楽部や合唱部の練習利用(市が利用料金を負担)などに音楽ホールを使用している。	
25	・京葉銀行文化プラザの廃止について反対である。理由は、これからの若い世代のために活用してほしいからである。県や他の自治体から協力をもらいながら、音楽ホールは残すべきである。	・本市の文化施策では、将来的な人材育成の観点から、第2次千葉市文化芸術振興計画の基本施策において、文化を創造する人材の育成を図ることとしており、子ども・若年層を対象として「こども創造体験プログラム」などの事業を実施しております。これらの事業については、本施設以外での実施となりますが、着実に実施することで、子どもや若年層が文化施設を引き続き活用する機会を確保することにより、施設廃止に伴う影響が生じないよう努めてまいります。 ・また、売却にあたっては、ホール継続(10年以上)の条件を設定する予定であり、当面の間は本施設のホールは存続する予定です。
26	・音楽教育に携わる者として、市は他市(船橋市、習志野市、市川市、松戸市、柏市など)に比べ、音楽を軽視しているように感じる。千葉県は吹奏楽大国と言われるが、千葉市は散々な結果である。予算のかけ方から大きく差が開いている。音楽ホールを廃止するという考えがでることから、市が音楽を軽んじていることが更に感じられてならない。今一度、ホール存続に向けて再考していただけるようお願いする。	
27	・演奏会を企画する借り手にとって集客は重要な要素であり、安くはない利用料を考慮すれば、土日祝日以外の利用を躊躇してしまうのは当然であるが、一方で、「毎年は借りられないが、数年に一度は京葉銀行プラザで演奏したい」という借り手は少なくなく、ステイタスシンボルになっている。	・本施設の利用料金は、本市が旧郵政公社から取得した際にサービス内容等で影響が生じないよう、金額を変更せずに設定しております。 ・音楽ホールの継続利用のご意見については、売却条件の具体的な検討において参考とさせていただきます。

「千葉市文化交流プラザ(京葉銀行文化プラザ)廃止の方針」に関するご意見と市の考え方

2 施設運営において経営努力を求める意見

意見 No.	意見概要	回答案
28	・素晴らしい音楽ホールであることの特徴をもっとアピールしてほしい。	・ホールを含めた本施設の概要や実施事業等については、指定管理者のホームページや、文化事業を掲載する広報誌などを活用し周知しております。 ・また、売却にあたっては、ホール継続(10年以上)の条件を設定する予定であり、当面の間は本施設のホールは存続する予定です。
29	・素晴らしいホールであるにもかかわらず、利用が低いのは知名度が低いためだと思う。この会場に一度でも行ったことがあれば素晴らしいホールだということは誰でも納得すると思う。利用度の高い他の公共ホールの宣伝活動を参考にして、千葉市として再検討してほしい。	
30	・地方都市のホールも平日の利用がない状態に悩んでいる。しかしながら、優れた音響環境を生かして、例えば録音スタジオ的な活用、東京に至近である地の利を生かした音楽番組の撮影や音楽大学への貸し出しなど、積極的な誘致で稼働率をあげているホールもある。これらの例は、優れた音楽ホールがあつてのことで、音響の悪い多目的ホールではできない。	・本施設の運営にあたっては、旧郵政公社から取得した際に、ホールの責任者などを継続的に雇用することにより、サービス内容等に影響が生じないよう適正な管理に努めるとともに、平成26年度末に赤字事業となっていたスパ&フィットネスを廃止するなど適宜経営の見直しを行っております。 ・また、東京フィルハーモニー交響楽団や千葉交響楽団(旧称:ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉)との連携事業により、本施設での鑑賞機会の提供等の取り組みも行っております。 ・上記の見直し等を踏まえた上で、市文化施設の中では利用率が低いことや、今後の維持管理費用が多額であること等を総合的に考慮し廃止する方針としています。
31	・地方行政が一元的に市内のホールを同列にマネジメントすれば、貸出へのフレキシビリティが失われ、ホールの持つ特性に沿った運営が阻まれる。優れたホールには専門の業界に通じたスタッフを置き運営することが活性化への近道と思うし、現在より利用率は上がるものと思う。それでもメンテナンス費用を完全に生み出すほどの収益にはつながらないと思うが、市が美術館を維持するように、収益に見合わなくても文化は政令指定都市の行政として必要不可欠な費用だと思う。	
32	・稼働率を上げるためには、彩の国さいたま芸術劇場や静岡音楽館AOIなどのように、市民の需要に合致した自主事業の企画や、セッション録音の誘致など音楽事務所や演奏家、レコード会社との繋がりを持つ「音楽家」を要職に置く必要性が生じる。しかし、京葉銀行文化プラザでは、そうした試みが行われた事は知る限り無いように思う。京葉銀行文化プラザは、例えば、録音などといった視点で見ると、ホールの容積や東京からのアクセス、近隣の宿泊施設など、首都圏では最高レベルの条件が揃っているにもかかわらず、その準備がなされていない。ハードは用意したものの、それを運営し活用するソフト面に関しては全く放置されてきた、という事にほかならない。ハコに関わる経費を文化・芸術への助成と見做し、「こんな立派な鳥籠を作ったのに、お金を払って住処にしてくれるカナリヤが勝手に入ってこないのはけしからん。ならば潰してしまえ。」という姿勢は、あまりに横暴である。	
33	・吹奏楽・オーケストラ活動が盛んな千葉市ですら音楽ホールが潰れるということは、千葉はもとより、その他の経営の行き詰ったホールの存続も左右する事案になると予想される。音楽ホールの廃止は千葉だけでなく、日本の文化レベルを下げてしまう。使用料を上げることなく、経営努力によって存続する道をもっと模索することが、未来の千葉にとって最良の選択であると思う。	
34	・京葉銀行文化プラザの廃止には反対である。平日の稼働率が悪いということだが、運営側は集客が期待できるような魅力的なプログラムを提供してきたのか。千葉には、千葉交響楽団など素晴らしい音楽家や団体がたくさんあるのに、それを十分に活用できないまま経営不振に陥ることは大変残念である。	・市内の音楽家や文化団体での利用に加え、東京フィルハーモニー交響楽団や千葉交響楽団と連携することなどにより、様々なニーズに応じたプログラムを提供しております。
35	・千葉都市モノレールのように社長を公募して、経営を委ねるという手もあるのではないか。	・ご意見の趣旨は、施設運営にあたり、民間ノウハウの活用や経営の効率化の手法を活用すべき旨と推察されますが、本施設は、地方自治法第244条の2第2項に規定する指定管理者による管理を行っており、民間事業者のノウハウを生かしながら、市民サービスの向上と管理経費の節減に努めております。

「千葉市文化交流プラザ(京葉銀行文化プラザ)廃止の方針」に関するご意見と市の考え方

	意見概要	回答案
36	・平日が空いている状況とのことであるが、この時間帯を利用してワンコインコンサートなどを主催していただくことは難しいのか。新宿文化センターでは平日の昼間に気軽に聴けるコンサートを行っているが、都内までは出向くことができないが、千葉駅前だったら行きたいと思うような年配の方は多いのではないか。また、そういった場を探している演奏者もたくさんいると思う。	・ワンコインコンサートは、プロの演奏を気軽に楽しんでいただくため、低廉な料金であることや、アクセスの良い場所を毎年度選定し実施しております。本施設については、JR千葉駅に近い場所ではありますが、施設側へ使用料を支払う必要があり、料金を値上げする必要性が生じてしまうことから、現在までコンサート会場として利用しておりません。 ・なお、平日利用を促進する観点から、平日に限定した割引制度を設定することなどを行ってまいりましたが、利用率は千葉市民会館など他の文化施設全体に比べ低い状況であり、施設の維持管理費等を含め、総合的に検討した結果、廃止することとしております。

3 売却条件に関する意見

意見 No.	意見概要	回答案
37	・売却の際には、①音楽ホールを10年間維持すること、②利用料金が現在以上に高くないこと、以上の2点を担保するような契約を市と購入者の間で締結してほしい。	・いただいたご意見については、売却条件の具体的な設定において、参考とさせていただきます。
38	・売却後において、利用料金を現状維持するため、市から補助も必要ではないか。	
39	・文化交流プラザの売却にあたり、転売・譲渡契約時には、契約書に音楽ホール10年以上継続利用できる条件を明記するとともに、その特別条項が確実に履行されるよう高額な違約金を併せて明記していただくよう要望する。	
40	・音楽だけでなく、地域交流やイベントも増やし活用してほしい。	・ご意見の趣旨は、売却にあたっての条件内容についてのものと推察されますが、売却条件は、今後、具体的な内容を設定する予定であることから、いただいたご意見を参考に検討させていただきます。

4 その他

意見 No.	意見概要	回答案
41	・リハーサル室で太鼓のレッスンに利用している。防音がしっかりしていて、このような条件の練習場所は近くにない。負担が増えても、このまま使用できると信じている。これからもずっと、今までのように利用させてほしい。	・いただいたご意見については、今後、売却条件の具体的な検討において、参考とさせていただきます。
42	・廃止方針はやむを得ないと理解した。音楽ホールを継続させようとする所管部署の様子が感じられ、音楽活動する団体としては感謝している。	・ご意見を踏まえ、今後の検討等を進めてまいります。

「千葉市文化交流プラザ(京葉銀行文化プラザ)廃止の方針」に関するご意見と市の考え方

意見 No.	意見概要	回答案
43	・ピアニストとして音楽ホールを利用している。廃止と言っても直ちにホールをなくしてしまうということではないようだが、売れなかった場合に、音楽ホールがどのようになるのか分からず不安である。	・売却が不調となった場合については、原因等について検証を行い、その結果等を踏まえ、対応方法を検討してまいります。
44	・意見を聞くと言うよりも、廃止を前提とした内容しかない資料は、非常に残念で言葉がない。	・方針の説明会に関するご意見と推察しますが、説明会は、方針に対する検討経緯や市の考え方を施設利用者等の市民の皆様にご説明する機会として設定したものです。施設の廃止については、今後、市民の皆様からの意見等を踏まえ、決定する予定ですので、ご理解くださるようお願いいたします。
45	・音楽ホールの優れた価値を考え、団体活動を通じ団体メンバーと音楽ホールのスタッフと一心同体でホールの活用・活性化に努力してきた。団体活動は限られるものの、スタッフは懸命に活性化への努力をされている。音楽ホールを拠点に、市で活躍する優れた音楽家の活動支援や優れた芸術家を招へいた音楽会を開催を行っている。これらの活動は市民会館・文化センターなどの音響の劣悪なホールでは不可能であり、プラザが廃止されれば、団体の活動は行き詰まり、市から優れた音楽芸術活動の火が消えてしまうことになる。	・いただいたご意見については、今後、市民会館等での取り組みや、大規模改修などの施設整備において、参考とさせていただきます。
46	・千葉市民会館でも演奏会は行われているが、同会館は多目的ホールであることから、音響は良いとは言えない。多くの演奏家が、「本来の実力以下に聴かせるホールだ」と言っている。ホールは、演奏をより良く客席に届ける音響が備わるべきなのに、その役割を市民会館は果たしていない。稼働率が高いのは座席数で他に代わるホールが無いからである。	
47	・多目的ホールには無い性質であるため、音楽専用ホールとして決して稼働率は悪くなかったと感じている。	・本市には、音楽の利用を中心とした施設として、美浜文化ホールにおける音楽ホールがありますが、同施設を含む市有文化施設のホール利用率の比較においては、本施設の利用率は低い状況です。
48	・レストラン(パスピエ)を句会の会場として10年以上使っている。高齢になった今日では駅から近い会場は有難く、またスタッフ一同親切に対応してもらい、安心して活動をしていた。会場が無くなることは、会にとって致命的である。存続をお願いしたい。	・いただいたご意見については、今後、売却条件の具体的な内容の検討において、参考とさせていただきます。